

令和3年度 第3回宮崎県職業能力開発審議会 議事録

1 日時

令和4年2月3日（木） 10時から11時30分まで

2 場所

オンライン開催（県庁8号館第1会議室から配信）

3 出席委員 12名（定員14名）

宮崎大学教育学部 教授 湯地 敏史

宮崎県専修学校各種学校連合会 副会長 常盤 真知子

宮崎県職業能力開発協会 副会長 池上 武博

宮崎県技能士会連合会 副会長 西府 茂樹

宮崎県立特別支援学校長会 矢野 恭子

宮崎県社会保険労務士会 副会長 越山 直美

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会 宮崎地区長 錦井 祐子

宮崎県高等学校教職員組合 執行委員長 相馬 早苗

日本労働組合総連合会宮崎県連合会 事務局長 重黒木 康恵

日本労働組合総連合会宮崎県連合会 政策・運動推進局長 蔵本 聡

宮崎県経営者協会 専務理事 河野 洋一

一般社団法人宮崎県工業会 専務理事 山本 卓也

【特別委員】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 宮崎支部長 炭田 直哉

宮崎労働局 職業安定部長 小川 和人

宮崎県立宮崎工業高等学校長 長友 健祐

宮崎県商工観光労働部長 横山 浩文

4 議事

(1) 第11次宮崎県職業能力開発計画最終案について

(2) その他

5 議事の内容

(1) 第11次宮崎県職業能力開発計画最終案について

事務局より概要の説明を行い、質疑に入る。

(委員)

- ・ 10月の審議会からいろいろな修正、いろいろな情報の差し替えありがとうございました。施策の全体像そのものには、特段修正はないが、ただ、取りまとめていただいたものが、宮崎県独特の事情を反映したものか、多少疑問がある。この資料、計画はそのままでもいいが、実際に実行段階になった時にやっぱり宮崎県の特徴に即した施策をぜひお願いしたい。
- ・ また、後ろの方の調査結果について、宮崎県の中学生、中学校高校の進路指導の先生方の感覚と、社会側のニーズの感覚が多少ずれている気がする。
- ・ この時代、コンピューターがもてはやされているのは、一般論としてはわかっているのですが、宮崎の特徴である農業を活かすための、二次産業、三次産業のあり方、それを支える人材の育成は、特徴になる。
- ・ そういう観点で、こんな職業にニーズがある、というのをもっと全県にPRして、人の募集をかけるとか、育成を強化するという運営、運用をしていただきたい。
- ・ これは全国的にかもしれませんが、二次産業系でいうと、建設業が人手不足だと聞いている。そこで、建設のところに、人が集まるようなPRの仕方、もしくはその育成の仕方をどうするかということも、よく考えていかないといけない。
- ・ それから、前回の会議でも申し上げましたけども、女性の社会進出支援については、いわゆる一般事務作業に応募が多いのかもしれませんが、求人側のニーズはあまりない。そういうアンマッチのところをどの様に是正していくのかも考えないといけない。
- ・ せっかく職業訓練や支援をしたのに、出口としての就職場所がない、ではいけない。
- ・ むしろこんな分野なら、仕事いっぱいある、そっちに行ってみたい、という人材発掘をしてその支援をする。そういう運用にも目を向けて、取り組んでいただきたい。

(事務局)

- ・ ご意見、ごもっともだと思っております。
- ・ 本県の強みは、第一次産業、特に全国有数の畜産県であるということがありまして、それを生かしたフードビジネスの取り組みとか、大分県から本県にかけて、血液や血管に関する医療機器、こういったのを製造する企業が集積しているという特徴があり、そういった産業の一層の集積を図るという取り組みなどがあるなというふうに考えております。
- ・ また、本県の弱みということでは、若者の人材流出や、全国よりも早い高齢化の進行などがございます。
- ・ 人材育成の面につきましては、おっしゃる通り情報産業が、最近大きく、世界をリードし、世界の潮流となっているということもあって、国においても、小学校の時点からプログラミングの実践とか、今度、3年後には、全国の共通テストで、国公立については、情報を試験の義務化にするといった動きなどが出ております。
- ・ 建設業については、人手不足が続いているのが現状で、働きやすい職場、「ひなたの極

み」という事業を当課で取り組んでおりますが、建設業の取得が多い状況。これは、働きやすい職場だということもPRして人材確保したいということが背景にあって、かなり切実な状況だと思います。建設業についてもどんどん進歩しており、昔言われた3Kというようなところから、どんどん状況が変わってきていると思っております。

- ・ 女性の活躍については、これから人口減少が続いていく中で、本県においても積極的に取り組むべき分野だと思っております。
- ・ 一昨年の10月から、女性高齢者就業支援センターなどを設置しており、事務職に偏っているところを何とか、例えば介護などの分野に目を向けていただくようなことも取り組んでいく必要があると思っております。

(会長)

- ・ ありがとうございます。
- ・ ほかに、特に大きな変更点、また、ご指摘が無いようであれば、次に進めさせていただきたいと思えます。
- ・ 議案1につきまして、本日のご意見を踏まえまして第11次計画の最終案を事務局でとりまとめていただくようお願いします。
- ・ ここでお諮りいたしますが、最終案の修正につきましては、微修正等ある場合には、私の方に確認等、一任いただきまして、最終案の取りまとめを、進めさせていただければと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

- ・ それでは、最終案につきましては会長一任という形で進めさせていただきます。よろしくお願いたします。
- ・ 続きまして、議事の2その他の方に移りたいと思えます。本計画以外での職業能力開発に係るご意見等あれば、よろしくお願いたします。

(委員)

- ・ 職業力開発に限らないが、パブコメに、意見が一つもないということについて、他に県の色々な政策についてパブコメ出されると思うが、総じて意見が少ない気がする。
- ・ それは、県民の関心がないのか、広報の仕方が悪いのか、どっちかがあろうかと思うのですが、上手くPRしないことには人もパブコメもきっと集まらない。
- ・ 別に何か知恵があるわけではないが、少なくとも今やっていることを、そのまま延長して繰り返しているだけでは、進展がないので、もうひと工夫して、例えば県の広報誌で、パブコメの仕組みそのものをPRするとか、そういうことも含めて、いろいろ施策考えていただければと思います。

(委員)

- ・ 技能五輪で、洋裁部門で金賞をとった方を取材したテレビ放映があった。
- ・ 女性の方ですけども、23歳以下の全国協議大会で、去年が最後の大会だったが、そこで金メダルを取れたということで、非常に気持ちよく、お話をされました。
- ・ そういうことが技能者にとっては、ものすごく刺激になると思う。ですから、今回だけでなく、そういった機会を、多く作ってあげて欲しいと思います。
- ・ それから、技能者のレベルを上げる、その中で、女性の活躍について、ぜひ、事務系だけでなく、製造関係などにも目を向けていただくような施策を推進して欲しい。
- ・ 最近では女性の製造現場での活躍が少しずつ増えてきています。このように増えてくるといいなというふうに思います。
- ・ 私どもの職場にも女性が働いていただいているが、産休育児休暇をとられる女性が一番悩んでいるのが、預ける場所。そういった方面も考えて、女性が働ける環境作りも必要かと思っています。

(事務局)

- ・ 技能者のPRにつきましては先日テレビで、金賞をとられた田代まどかさん、レストラン部門の銅賞を取られた西川さんが出られていたものを拝見いたしました。
- ・ 私どもも技能五輪の入賞者の方についてですね、毎年知事・副知事にお会いしていただくようなこともやっており、当然プレスにも、発表させていただいております。
- ・ 女性の活躍については、おっしゃる通り県庁の中でも、土木職とか建築職で女性の割合が増えている、また、産業技術専門校も、女性が最近、かなり入っていている傾向にあります。
- ・ 製造業の中で女性が活躍していただくというのも非常に大切だなあというふうに思っておりますので、PRもしていきたいと思っております。
- ・ 預ける場所の話も出ましたけども、地域によって若干格差はあると思いますが、宮崎県は、特に幼保連携型認定こども園は、全国レベルでかなり高い数になってきている状況にあります。

(委員)

- ・ 今日初めて参加させていただきましたが、いろんな方のお話を伺っていて、キャリアコンサルタントが多分、ご協力できるのではないかと感じております。
- ・ 私は今サポステ、若者サポートステーションで相談員もさせていただいておりますが、先ほどおっしゃったように、皆さん本当に限られた仕事しか知らない。技能職とかは、キャリアコンサルタント自身も知らないものがたくさんありますし、または学校教育の現場の中で、教えてもらった仕事がいかに少ない形で見られるので、やっぱり教育の現場からキャリア教育っていうのをいれていながら、そして、いろんな方たちも経験

されたこととかその職場のことを広く子供たちが知っていくというのがすごく大事だと思っています。

- ・ 特にサポステでは、なかなか就職できないとか、自分のいろんな問題で就職していかない方たちもいる。そういう方が本当に自分の能力を活かし、技能を身につけながら自分の専門職を見つけていくといった支援ができるように、知識を深め、いろいろなところと繋がっていきたい、また、私がこういう場面に出て、キャリアコンサルタントのメンバーにこういう話を下ろしていきたいと思います。

(事務局)

- ・ 子供たちが、早い時期から、いろんな職種を知っていくっていうことは、非常に大事なことだなというふうに思っております。
- ・ 技能分野につきましては、小学生・中学生を対象に、技能・伝統の部分を見せたり、お話をさせていただいたりという場を、作っているところです。
- ・ また、将来を見据えた、本人のキャリア教育について、早い段階から取り組みたいと思っております。
- ・ 例えば就職の分野でも、現在、高校生を対象とした事業について、中学生の段階からできないか、など、いろいろと検討を進めているところです。

(委員)

- ・ 第11次職業能力開発計画が、実際に具体的に実践されることを願います。
- ・ 特に障害者に関して、私、特別支援学校の校長をしておりますが、先ほどキャリア教育っていうのがありましたが、小・中学校、中学校も職場体験。特別支援学校におきましても小・中・高という、一貫したキャリア教育を計画しております。
- ・ 障害者の雇用に関しましては、令和2年から、このデータを見ますと、増加傾向であったところがまた、新型コロナの影響で伸び悩んでおります。現場でも、相談をするところがなかなかないということで、学校側の進路担当がフォローアップに伺っています。特に障害者雇用に関しましては、今後デュアルシステムと、職業コースとを宮崎県でも計画しており、高等特別支援学校をとおして、現場に出た新たな開発を今から、啓発しているところです。今後、それぞれの啓発活動が、繋がっていくことを願いたいと思います。
- ・ ここに書いてある五つの項目が、実践されることを願う。
- ・ 先ほど、女性の雇用に関しましても出ましたが、進んでいるとは思いますが、私個人的に言うと、男性が育休をとりやすい職場。学校現場も育休を取られる男性がだいぶ増えておりますが、そこが変わってくると女性の雇用に繋がるのかなという気がしました。

(委員)

- ・ 今の育休のお話だと、育休をとって何をするのかという議論を、どこか部局で考えていただければというふうに思います。
- ・ 笑い話的によく聞くのですが、男性が育休とると、家庭の中では子供が1人増えたようなものだ。こういうふうにおっしゃる女性の方が多くて、男性に限らず、最初のお子さんであれば女性にとっても、もう日々新しいことの連続だと思いますけども、男性にとっても同じことなので、夫婦一緒に、子育ての学習ができる機会をちゃんと設けるとか、そういう夫婦と一緒に共同体験することはとても大事。そういう機会を、どこか部局でちゃんと設けて、そういう育児休暇のサポートをしていただければと思います。
- ・ ちょっと違う観点で、これからのいろんな事業を展開されるときに、記録を、文書や数値で取りまとめたりするとあわせて、画像や動画を撮って、その動画を参考にしてまたこんな事業に取り組んでいますとPRをする。それから、こんな技能者が社会で活躍しています、こういう女性が活躍しています、こういう障害者の方が活躍しています、という映像をネタにどんどんPRするようなことを是非やっていただきたい。
- ・ 私ども企業だと、会社やでき上がった製品、サービスのPRを行います、その物ができるまでの過程でどんな作業が行われているかをPRすると、小中学生、高校生が興味を持ってくれるのではないかと思う。まさに技能、テクニックとは、こんな仕事があるのだという、見える化に繋がるだろうという気がします。

(事務局)

- ・ 事業の記録で、いわゆる動画でというお話がありました。
- ・ まず当課の話を紹介いたしますと、令和2年度に192事業所のPR動画を制作いたしました、それを現在県内に就職して下さることを目的に作っているサイトで「choice(チョイス)」というのがありますが、そちらの方に掲載をしているところでございます。
- ・ また令和2年度と3年度に分けて、職種を紹介する動画、令和2年度に12職種、令和3年度に8職種、これは現在作成中ですが、そういう職種を紹介する動画を作っております。来年、実は今年度、高校生を対象とした就職総合サイトを、現在、宮崎大学の方が製作中で、4月までに運用を開始するという予定になっておりまして、そういった動画につきまして総合情報サイトの方で紹介させていただくような取り組みをやっていきたいと思っています。

(会長)

- ・ 多くのご意見をいただきましてありがとうございます。
- ・ 初めてのオンライン開催ということでしたが、ご意見がないようですので、議長の役を終わらせていただきまして事務局の方にお返ししたいと思います。